広島県公立高校入試徹底分析【社会】

【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	50点
問題構成	大問は4題。地理・歴史・公民・融合問題が出題される。 地理は、計19点分出題。 歴史は、計17点分出題。 公民は、計14点分出題。		

	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)	令和3年度(2021)	令和2年度(2020)	平成31年度(2019)
問題量（A4で）	12ページ分	14ページ分	14ページ分	14ページ分	12ページ分
小問数	21問	24問	22問	24問	25問
論述問題の数	6問	10問	9問	15問	13問
論述問題配点	20点	25点	26点	40点	31点
受験者平均点	25.8点	23.3点	26.5点	22点	21.6点

【出題の傾向と対策】

① 語句記述は資料などから情報を読み取る練習が必要。

大問2 3

3 Cに関して，次の資料Ⅰは，分国法の一つである朝倉孝景条々の一部を示したものであり，下の文章は，資料Ⅰ中の下線部①の内容による影響について述べたものです。文章中の［　　］に当てはまる適切な語を書きなさい。

資料Ⅰ

わが朝倉の館のほかには，領国内に城を構えてはならない。①すべて所領のある者は，一乗谷に移り住み，それぞれの領地には代官だけを置くべきである。

下線部①の内容により，戦国大名の朝倉氏の家臣は，朝倉氏の本拠地である一乗谷に集められた。また，一乗谷には商工業者も集まり，本拠地の一乗谷は朝倉氏の［　　］として繁栄していくことになった。

◆ 資料から、「分国法」や「戦国大名」という語句から戦国時代であることが分かる。戦国大名は居城をかまえ、城下町をつくり、自由な商工業をさせて経済を活性化させた。そのことから「城下町」という言葉を導くことができる。

② 語句の名称だけでなく、簡潔に内容をまとめる練習をする。

大問3 5

5 次の資料Ⅱは，労働契約について述べたものです。日本国憲法第28条で，労働者の団結権が保障されているのはなぜですか。その理由を，資料Ⅱを踏まえて，簡潔に書きなさい。

資料Ⅱ

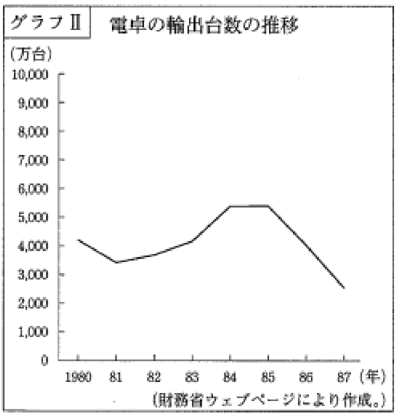
みなさんが会社に就職しようとする場合，みなさん（労働者）と会社との間で，「働きます」「雇います」という約束＝労働契約が結ばれます。どういう条件で働くか等の契約内容も労働者と会社の合意で決めるのが基本です。

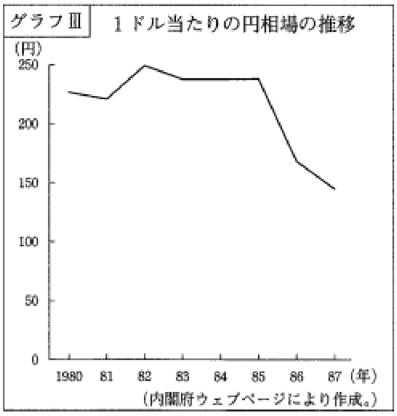
◆ 労働契約について，日本国憲法第28条で労働者の団結権が保障している理由は
以下，資料Ⅱから読み取れることをまとめる。
① 労働契約は労働者と会社との合意で決めるのが基本である。
② だが労働者一人一人は，会社に対して弱い立場にあり，労働条件が不利になる可能性がある。
③ そのため，労働者が団結することを対等な立場で交渉できるようにするため。

③ グラフから読み取れることを関連付けて説明する練習が必要。

大問4　3

村田：１ドル当たりの円相場の推移を示したグラフⅢを見付けたよ。これを見ると，1980年代半ばに，［　a　］が進んで，電卓の輸出が［　b　］になったといえるかもしれないね。それも輸出台数が急激に減少した理由の一つだと考えられるね。





◆ グラフから読み取れることをふまえて空欄に当てはまる語句を考える必要がある。

※グラフⅡとグラフⅢから電卓の輸出台数と1ドル当たりの円相場にどのような関係性があるかを読み取る。1980年代半ばに，1ドル＝約230円から1ドル＝約150円まで変わり，円高が進んだことが分かる。そのため，輸出が不利になり，電卓の輸出台数が急激に減少した一因になった。

④ 条件にしたがって自分の意見を求める問題があり、自分の言葉で説明する練習が必要。

大問4　4(1)

4　中野さんの班では，伝統的工芸品として指定されている兵庫県小野市の播州そろばんについて調べ，伝統的工芸品としてのそろばんは木を主な材料としていることを知りました。あとの（1）・（2）に答えなさい。

（1）中野さんの班では，なぜ小野市でそろばんの生産がさかんになったのかについて疑問をもち，小野市と，雲州そろばんが伝統的工芸品として指定されている島根県奥出雲町について調べたことを次の表Ⅰにまとめ，これらの地域でそろばんの生産がさかんになった理由を二つの地域の共通点を基に説明しました。中野さんの班の説明はどのようなものだと考えられますか。表Ⅰを基に簡潔に書きなさい。

表Ⅰ　二つの地域の江戸時代までの様子

兵庫県 小野市	・なだらかな丘陵があり，林が広がっていた。 ・ハサミなどの家庭用刃物類が家内工業として生産されていた。 ・豊臣秀吉による城攻めから逃れた人々が，近江国（滋賀県）のそろばんの製法を習得してもち帰った。
島根県 奥出雲町	・山間部で，森林に囲まれていた。 ・製鉄業がさかんで，小刀などの刃物が生産されていた。 ・大工が安芸国（広島県）のそろばんを参考に大工道具を使って製作を始めた。

◆ 問題文を読み取り、これらの地域でそろばんの生産が盛んになった理由を，表Ⅰから二つの地域の共通点を読み取り，まとめる。
◇森林に囲まれていて，材料となる木材が豊富にある。
◇木材の加工に使う刃物が生産されていた。
◇そろばん生産の技術が生かせる環境であった。

解答

大問2　3　城下町

大問3　5

例　労働契約は労働者と会社との合意で決めるのが基本だが、労働者一人一人は、会社に対して弱い立場にあり、労働条件が不利になる可能性があるので、労働者が団結することを対等な立場で交渉できるようにするため。

大問4　3　a　円高　　b　不利

大問4　4(1)　例　材料となる木材が豊富で、木材の加工に使う刃物の産地であった地域であり、伝わってきたそろばん生産の技術が生かせる環境であったため。